

『**盈たして 進む**』



おおきくなあれ！



5月に植えた野菜の苗が、すくすくと育っています。毎日の水やりはもちろんですが、朝の時間を活用して、定期的に草取りもしています。各学級ごとにいろいろと考えて、育てる野菜の種類を決めたようです。

1, 2年生は自分が育てたい野菜を選んで植えていて、イラスト入りで紹介してあります。始業前になると学級園に黄色い帽子が集まっているのを見て、ほっこりとした気持ちになります。

そして、それぞれの野菜には小さい実が…。まだまだ食べ頃とは言えませんが、収穫がとても待ち遠しい子ども達です。



本物のすごさを体験しました



6月10日、文化庁事業による『能楽体験』を開催しました。能楽に関する講話、実技披露、実技指導を通して、子ども達の豊かな創造力・想像力や思考力を養うことを目的としています。

体験には、6人の演者・演奏者の方が来ていただきました。最初は、能楽師の山中雅志

(やまなかまさゆき)さんが、能の歴史、楽器や能面について説明してくださいました。大阪出身の方なので、「なにわのおっちゃん」風に面白おかしく話してくださいましたので、子ども達はその世界に自然と引き込まれていきました。

代表の子ども達が、実際に能面をつけ、「摺り足」の実演をしました。「前が見えない～」と言いながらも、上手にできてました。

しかし、実演となると和やかな雰囲気は一転し、ピンと張り詰めた空気の中での舞と演奏。「固唾をのんで」という表現がピッタリなように、真剣なまなざしで演者の動きを見つめる子ども達。演者の動き、歌い手の声、楽器の音、全てに迫力があり、まさしく本物を体験させていただきました。

お礼の言葉を言ってくれたのは6年生の岡崎航くんでした。「今日のこの貴重な体験をきっかけとして、調べ学習などにつなげていきたい。」と堂々と発表してくれました。能面が怖くて泣き出した低学年の子どももいましたが、最後は、大きな拍手でお礼を伝えました。

